

最近のトマト品種におけるトンネル早熟栽培での品種比較

小寺孝治・沼尻勝人・田邊範子・澁澤英城

(園芸部)

【目的】

トマトのトンネル早熟栽培は、都内でも市場出荷、契約出荷、直売、自給的野菜として最も作付けの多い作型である。本試験では、最近の品種を中心に本作型での生育や収量特性を明らかにするとともに、有利販売に生かすための品種選定を行う。

【試験方法】

品種は‘ルイ 60’ほか 15 品種（ミニから大玉を含む）を供試した。播種（128 穴刈）は 2002 年 2 月 14 日、鉢上げ（3.5 号 PP）は 3 月 6 日、定植は 4 月 18 日に行った。畝には透明マルチ（畝幅 95cm）を展張し、株間 50cm の 2 条植え（合掌仕立て）で行った。定植後はべたがけ（パラス）とトンネル（タベル）被覆を行い、べたがけは 4 月 24 日、トンネルは 5 月 8 日に除去し、支柱を行った。区制は各区 12 株の反復なしとした。施肥は成分量 (kg/a) で N : 1.5, P₂O₅ : 2, K₂O : 1 を施用した。着果のためにトマトーン処理は⑭以外行ったが、特に摘果は行わず、8 段摘心とした。収量調査は 5 月下旬から 8 月中旬までに収穫した完熟果について調べた。糖度は 7 月 16 日に 3 から 4 段目の果実を調べた。

【成果の概要】

1) 表 1 にはミニ系から大玉系品種までを含む全品種の収量特性について、総収量が小さい順に列記した。総収量は⑯ティオクック > ⑮ふじみ > ⑭ルネッサンス > ⑬麗夏などが高かったが、上物重では⑩ルイ 60 > ⑯ティオクック > ③ミニキャロル > ⑬麗夏 > ②ラブリー 40 > ⑫桃太郎 T93 > ⑦彩果 > ⑪麗容などが高かった。収穫果数は、上物 1 果重が小さいほど多くなるが、大玉系品種の中では⑫桃太郎 T93 が約 25 個、⑪麗容が約 23 個とやや多く、⑧サンロードの約 17 個以外は 20 個前後であった。上物率では、全般にミニ系から中玉系品種は高く、大玉系品種の中では、⑬麗夏 > ⑦彩果 > ⑪麗容などが高かった。不良果のうち、着果数の割に裂果は⑩、⑮、⑭が、チャックでは⑭の割合が高かった（表 1）。

2) 草丈はミニ系品種である① < ② < ③ < ⑩が 140 から 160cm と低かった。中玉から大玉系品種は 173cm 前後であったが、④大吉、⑥桃太郎 J、⑮ふじみの草丈は高かった。茎径は全体に 8 段目で細くなっているが、これは干ばつの影響が大きいと考えられる。

3) 果実の形状は表 3 に示したとおり、品種によって子室数は異なり、全般に豊円腰高であるが、⑯はやや縦長、⑭は先が尖っていた。糖度は③ミニキャロルが最も高かったが、大玉系の中では⑤優美、⑫桃太郎 T93、⑦彩果、⑨桃太郎 8、⑧サンロードなどが高かった。

4) 以上の結果、収穫果数と 1 果重は相反する関係にあるが、収量、品質、生育の点からミニ系では③ミニキャロル、⑩ルイ 60、大玉系では⑬麗夏、⑫桃太郎 T93、⑦彩果などが有望と考えられた。また、⑯ティオクックは糖度が低い、収量が高く、果肉も厚いことから調理用トマトとしての生産販売が有望と考えられる。

表1 トマトのトンネル早熟栽培における各品種の収量特性

品種	総収量 (g/株)	総収量 (個/株)	上物重 (g/株)	上物果 (個/株)	上物率 (%)	上物果 (g/果)	主な不良果の内訳(個/株)					
							乱形	窓	チャック	小玉	尻腐	裂果
①サンチェリー250	2213	126.4	1680	88.1	69.7	19	1.2	0.1	0.0	8.1	0.2	3.3
②ラブリー40	2976	77.0	2551	62.0	80.5	41	0.3	0.0	0.3	3.8	0.4	5.0
③ミニキャロル	3148	287.3	2741	229.5	79.9	12	0.6	0.0	0.1	32.7	0.1	1.7
④大吉	3164	21.4	1546	9.3	43.2	167	1.0	2.0	2.1	4.2	0.4	0.9
⑤優美	3490	20.3	1815	9.6	47.3	189	0.3	2.2	3.2	1.7	1.4	1.0
⑥桃太郎J	3561	19.0	1525	7.8	41.2	195	0.6	2.2	2.6	1.6	2.6	1.2
⑦彩果	3573	21.1	2198	12.3	58.1	179	0.3	0.8	1.0	2.5	0.8	1.5
⑧サンロード	3593	16.6	1845	8.8	52.8	211	0.8	2.3	2.2	0.3	0.8	0.6
⑨桃太郎8	3632	21.3	2172	11.7	54.9	186	1.2	2.1	1.8	1.7	0.7	1.8
⑩ルイ60	3655	80.3	3057	62.8	78.3	49	0.3	0.0	0.4	6.4	0.2	4.8
⑪麗容	3781	22.9	2197	12.9	56.4	170	0.6	0.5	1.0	1.8	0.9	4.0
⑫桃太郎T93	3882	24.6	2254	12.6	51.2	179	0.5	2.1	2.3	3.5	1.1	1.6
⑬麗夏	4022	19.8	2626	12.3	62.2	213	0.5	1.6	1.4	1.1	1.7	0.7
⑭ルネッサンス	4101	30.2	1535	10.3	34.0	150	0.0	1.3	8.0	1.3	1.0	6.8
⑮ふじみ	4638	29.8	1658	10.2	34.1	163	1.1	0.9	3.4	2.5	1.3	8.9
⑯ティオクック	4688	47.1	3005	27.7	58.8	109	0.0	0.2	0.7	5.0	1.2	11.2

供試品種の商社:①⑦トキタ, ②協和, ③⑧⑪⑬⑭サカタ, ④むさし, ⑤丸種, ⑥⑨⑩⑫⑯タキイ

表2 トマトのトンネル早熟栽培における各品種の生育特性

No	草丈		茎径3段		茎径5段		茎径8段		No	草丈		茎径3段		茎径5段		茎径8段	
	(cm)	(SE)	(mm)	(SE)	(mm)	(SE)	(mm)	(SE)		(cm)	(SE)	(mm)	(SE)	(mm)	(SE)	(mm)	(SE)
①	141	±4.1	15	±0.5	18	±1.3	12	±0.9	⑨	172	±3.6	22	±0.5	18	±1.2	12	±0.6
②	146	±1.4	19	±0.6	22	±0.7	15	±0.9	⑩	161	±3.5	21	±1.2	21	±0.7	15	±0.3
③	151	±2.5	17	±1.0	20	±0.3	12	±0.7	⑪	172	±1.5	21	±0.6	21	±0.8	11	±0.4
④	195	±5.3	17	±0.4	17	±0.7	12	±0.6	⑫	173	±2.7	21	±0.5	19	±1.1	12	±0.5
⑤	177	±4.9	23	±0.5	24	±1.2	16	±1.0	⑬	172	±4.5	24	±1.2	23	±1.1	13	±0.7
⑥	195	±1.3	22	±0.6	19	±0.3	11	±0.9	⑭	175	±3.7	20	±0.5	17	±0.8	10	±0.7
⑦	176	±3.3	23	±0.6	23	±1.1	16	±1.3	⑮	187	±3.3	22	±0.7	22	±0.8	14	±0.4
⑧	172	±4.0	22	±0.7	21	±1.3	13	±1.2	⑯	169	±3.3	18	±0.4	18	±0.8	11	±1.2

草丈は第8段果房着生部までの長さを測定. 茎径は各果房下の茎径を測定(n=7)

表3 トマト各品種の果形、切断面の状況ならびに糖度

①サンチェリー250		⑤優美		⑨桃太郎8		⑬麗夏	
6.9±0.19		6.3±0.13		5.9±0.05		4.7±0.12	
②ラブリー40		⑥桃太郎J		⑩ルイ60		⑭ルネッサンス	
6.0±0.16		5.2±0.02		6.0±0.08		6.0±0.11	
③ミニキャロル		⑦彩果		⑪麗容		⑮ふじみ	
7.1±0.30		6.0±0.19		5.2±0.04		5.0±0.07	
④大吉		⑧サンロード		⑫桃太郎T93		⑯ティオクック	
5.1±0.06		5.9±0.29		6.2±0.07		4.2±0.26	

糖度(Brix %)は各品種とも3から4段目の上物果を5果ずつ測定(±SE)